

會員 各位

第 546 回 構造懇話会 令和 7 年度 運営委員会のご案内

本会も、会員の皆様がよりご参加しやすい環境の取り組みとして「ハイブリッド開催（会場参加
+オンライン参加）」とさせていただきます。多数のご参加をお待ちしております。

記

2. 場 所 神戸市教育会館 404号室 (会場参加)

神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

URL : <http://www.kobekhall.com/>

(※講演はこの会場で行われます。)

(オンライン参加)【Zoomによる参加】

<https://zoom.us/j/98567194817?pwd=2BkLGaAaL6Lnb4oNTgAEv4r1qiRMum.1>

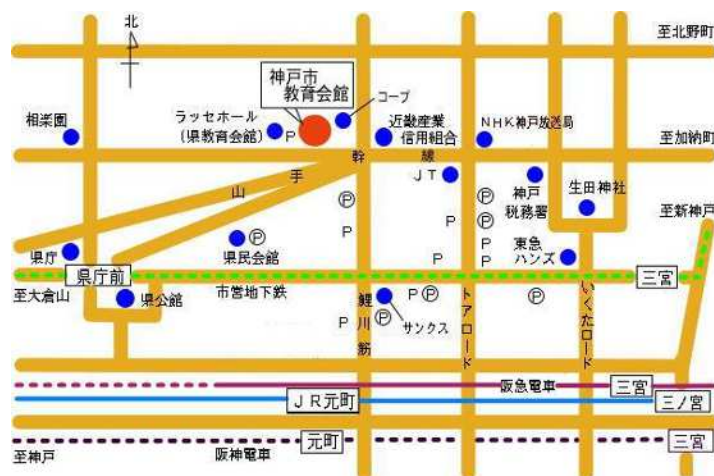
ミーティング ID: 985 6719 4817

パスワード: 071591

オンライン参加の方には、各発表の開始 3 分前に Zoom のチャットボックスにて資料配布を行います。[※]

※本発表には、外部の論文として未公表の内容を多く含まれております。資料の取り扱いには十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

【案内図】

構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

※幹事が資料を配布した後にZoomにログインされた場合、資料を受け取れない可能性がありますので、お早目にログインをお願いします。

※会場参加される方でノートPCやタブレットをお持ちの方は、印刷にかかる費用や地球環境への負荷の面から、極力データでの資料の閲覧をお願いします。

※CPD 登録について

本プログラムは十木学会認定 CPD プログラムです。

土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

3. 議 題

1) 運営委員会

15:00～15:30

2) 例会

15:40～16:30

『積層形式格点部の挙動・新たな継手構造の提案』

明石工業高等専門学校 都市システム工学科 大城 雄希氏

概要

鋼トラス橋および鋼アーチ橋の格点部には、一体形式と積層形式の二種類が存在する。一体形式は、主構ウェブとガセットプレートが一体化された構造であり、現代の日本国内の橋梁において広く採用されている。一方、積層形式は、主構ウェブにガセットプレートを積層する構造であり、日本国内ではリベット接合を用いた橋梁に多く採用された。

特に、日本の技術支援により橋梁技術が急速に発展しているミャンマーにおいては、過去に建設された橋梁の一部において、積層形式の格点部にさらに複数枚の連結板を積層する構造が採用されている。しかしながら、このような複数枚積層形式の格点部の耐荷力に関する研究は少なく、その安全性および機能持続性の評価が求められている。本日は、これらの課題に対して解析および実験を通じて検討を行った結果の一部を紹介する。

さらに、高力ボルト摩擦接合継手における新たなすべり耐力向上手法に関する研究についても紹介する。

【連絡先】

協和設計株式会社 赤木 昌詩

E-mail : akagi@kyowask.co.jp

Tel : 072-627-9351 / Fax : 072-627-9350

構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

－ 以 上 －